

年 組 名 前 :



記念演奏会に向け、練習するメンバー
—南アルプス市湯沢

和太鼓息合わせ15年

南ア「鼓摩の会」あす演奏会

南アルプス市甲西地区を拠点に活動する和太鼓グループ「鼓摩の会」和太鼓和楽（石川勉会長）が結成15周年を記念し、7日午後1時半から桃源文化会館で演奏会を開く。「和になつて楽しく」を合言葉に、子どもから大人まで世代を超えて練習を重ね、統一感と迫力がある音を追い求めてきた。

（穴山菜津美）

会は、和太鼓愛好者らを中心に2006年9月に結成。日本太鼓協会などが主催する太鼓の東日本大会などで優勝し、6回にわたり全国大会に出場した経歴もある。また、地域の祭りやイベント出演、福祉施設の慰問などを行ってきた。現在は小学2年生、65歳のメンバー25人が週2回のペースで、約2時間半の練習に励んでいる。

会は、15周年の感謝の思いを込めて記念演奏会を企画。当初は今年2月に計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大による行動制限を受け、延期していた。演奏会では結成当時から演奏してきた曲、全国大会で披露した曲など会のこれまでの歩みを振り返る演目のほか、初披露の「澄」では、縮太鼓で澄み渡る音色を表現する。

2日は南アルプス市湯沢の落合創造館アミカルで、記念演奏会に向けて練習会が行われた。舛田光寛副会長の指導のもと、メンバーは演奏会で披露する曲目の動きなどを確認。統一感を意識しながら迫力のある音を響かせていた。兄の影響で小学1年生から和太鼓を始めた佐野美秋さん（甲西中1年）は、「新型コロナウイルスの影響で演奏を披露できる場が減る中、演奏会はとても楽しみ。みんなで息を合わせ、笑顔でたたくたいと話した。石川会長は「これまで応援してくれた人への感謝の気持ちを込めて演奏を披露したい」と話している。

(2022年8月6日付 山梨日日新聞 23面)

問1 南アルプス市の和太鼓グループは、演奏会に向けて、何を合言葉に練習を重ねていますか。

.....

問2 次の文章の①から⑧に当てはまる数字を、答えてください。

『鼓摩の会は、①年②月に結成された。現在は小学③年生から④歳のメンバー⑤人が週⑥回のペースで、約⑦時間半の練習に励んでいる』

①..... ②..... ③..... ④..... ⑤..... ⑥..... ⑦..... ⑧.....

問3 小学生から大人まで、幅広い年齢層で、1つのことに取り組んでいます。このような取り組みの良いところは何だと思いますか。

.....